



平成 23 年 6 月期 第 2 四半期決算短信 [日本基準] (非連結)

平成 23 年 2 月 10 日

上場会社名 株式会社かんな丸 上場取引所 大
 コード番号 7585 URL <http://www.kannanmaru.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 栄治
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 菊田 聡 TEL (048) 881 - 9056 (代表)
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 2 月 10 日 配当金支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1 . 平成 23 年 6 月期第 2 四半期の業績 (平成 22 年 7 月 1 日 ~ 平成 22 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績 (累計)

(% 表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 6 月期第 2 四半期	3,062	2.1	137	23.3	148	17.6	52	47.8
22 年 6 月期第 2 四半期	3,000		179		180		100	

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23 年 6 月期第 2 四半期	12	22		
22 年 6 月期第 2 四半期	23	39		

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23 年 6 月期第 2 四半期	4,793		3,921		81.8	909	39	
22 年 6 月期	4,544		3,937		86.7	913	16	

(参考) 自己資本 23 年 6 月期第 2 四半期 3,921 百万円 22 年 6 月期 3,937 百万円

2 . 配当の状況

(基準日)	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 6 月期	- -	0 00	- -	16 00	16 00
23 年 6 月期	- -	0 00	- -	- -	- -
23 年 6 月期 (予想)	- -	- -	- -	16 00	16 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3 . 平成 23 年 6 月期の業績予想 (平成 22 年 7 月 1 日 ~ 平成 23 年 6 月 30 日)

(% 表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	6,050	3.3	339	30.6	354	28.0	146	0.9	34	04

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年6月期2Q	4,351,308株	22年6月期	4,351,308株
----------	------------	--------	------------

期末自己株式数

23年6月期2Q	39,211株	22年6月期	39,067株
----------	---------	--------	---------

期中平均株式数（四半期累計）

23年6月期2Q	4,312,152株	22年6月期2Q	4,312,381株
----------	------------	----------	------------

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1．当四半期の業績等に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する定性的情報	2
（2）財政状態に関する定性的情報	2
（3）業績予想に関する定性的情報	3
2．その他の情報	3
（1）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
（2）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
（3）継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3．四半期財務諸表	4
（1）四半期貸借対照表	4
（2）四半期損益計算書	6
（第2四半期累計期間）	6
（第2四半期会計期間）	7
（3）四半期キャッシュ・フロー計算書	8
（4）継続企業の前提に関する注記	9
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

（1）経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国需要に支えられた輸出の増勢も長期化する円高による鈍化が懸念される状況にあり、国内景気につきましても、記録的な猛暑による消費支出の増加や、エコカー補助金の終了を控えた駆け込み需要はあったものの、政策的な消費刺激策が一巡した感があるなか全般的には穏やかな増勢に留まっており、デフレ状態から脱するには至らず景気は踊り場を迎えているものと思われま

す。外食産業におきましては、個人消費の動向を反映して価格競争が一段と激化するなか、低価格業態開発が業界のトレンドとして定着しつつあり、業界全般的な収益構造に大きな変化が表れてきているものと思われま

す。こうした状況の下、当社は値下げ競争には参入せず提供するサービス全般の質的な競争力の向上を基本とした営業方針を採っているため、値下げによる販売促進が主流となる市場環境の中にあって短期的な販売実績確保に苦戦を強いられておりますが、当第2四半期累計期間におきましては、「庄や」1店舗、「日本海庄や」2店舗、「やるき茶屋」1店舗を開店いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の店舗数は、大衆割烹「庄や」39店舗、「日本海庄や」36店舗、気楽な安らぎ処「やるき茶屋」4店舗、カラオケスタジオ「うたうんだ村」7店舗、無国籍料理「KUSHI949KYU」1店舗、コーヒー専門店「ドトルールコーヒーショップ」1店舗、旬菜・炭焼「炉辺」2店舗の合計90店舗となっております。

当第2四半期累計期間も既存店の活性化を図り、地域一番店を目指す方針に基づき、人材の発掘・登用を積極的に行い、また「わざわざご来店いただいたお客様」に感謝するためのきめ細かい施策を継続して実施してまいりました。

以上により、当第2四半期累計期間の業績は売上高3,062,458千円（前年同期比2.1%増）、売上総利益2,184,635千円（前年同期比3.0%増）、販売費及び一般管理費については2,046,732千円（前年同期比5.4%増）となり、営業利益は137,903千円（前年同期比23.3%減）となりました。

經常利益につきましては148,475千円（前年同期比17.6%減）となり、四半期純利益は52,694千円（前年同期比47.8%減）となりました。

（2）財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産の状況は、現金預金を主とした流動資産の増加182,337千円、新規出店に伴う有形固定資産の増加67,107千円等により、総資産4,793,720千円（前事業年度末比5.5%増）となりました。

負債は、期末直近月の仕入高の増加による買掛金の増加65,699千円、短期借入金の増加50,000千円等により、872,350千円（前事業年度末比43.8%増）となりました。

純資産は、四半期純利益の計上等により3,921,370千円（前事業年度末比0.4%減）となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ118,027千円増加し、1,474,120千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は340,344千円（前年同四半期比11.5%増）となりました。

収入の主な内訳は、減価償却費150,626千円、仕入債務の増加による収入65,699千円、長期未収入金の減少による収入61,011千円であり、支出の主な内訳は、貸倒引当金の減少による支出57,491千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は188,347千円（前年同四半期比16.6%増）となりました。

支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出42,309千円、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出139,545千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は33,969千円（前年同四半期は、9,862千円の収入）となりました。

収入の主な内訳は、短期借入による収入50,000千円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出15,280千円及び配当金の支払額68,541千円であります。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成23年6月期の業績予想については、平成22年8月13日に公表した業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

（1）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。また、前事業年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

（2）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益が3,359千円減少し、税引前四半期純利益が56,013千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は139,579千円であります。

表示方法の変更

（四半期キャッシュ・フロー計算書）

前第2四半期累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「長期未収入金の増減額（は増加）」は重要性が増加したため、当第2四半期累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第2四半期累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「長期未収入金の増減額（は増加）」は、4,457千円であります。

（3）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,562,285	1,403,747
売掛金	46,141	31,759
商品	161	97
原材料	42,410	38,392
前払費用	85,336	79,175
その他	40,094	40,675
貸倒引当金	281	38
流動資産合計	1,776,147	1,593,810
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,693,698	1,597,553
その他（純額）	337,942	366,979
有形固定資産合計	2,031,640	1,964,532
無形固定資産	15,120	15,518
投資その他の資産		
敷金及び保証金	820,570	810,812
その他	169,769	236,903
貸倒引当金	19,527	77,262
投資その他の資産合計	970,812	970,453
固定資産合計	3,017,573	2,950,504
資産合計	4,793,720	4,544,315
負債の部		
流動負債		
買掛金	188,825	123,126
短期借入金	50,000	-
1年内返済予定の長期借入金	33,336	33,336
未払法人税等	44,258	36,340
賞与引当金	3,000	2,964
その他	376,623	362,273
流動負債合計	696,043	558,041
固定負債		
長期借入金	29,440	44,720
資産除去債務	143,665	-
その他	3,202	3,803
固定負債合計	176,307	48,523
負債合計	872,350	606,564

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	275,100	275,100
資本剰余金	88,500	88,500
利益剰余金	3,593,321	3,609,623
自己株式	35,311	35,163
株主資本合計	3,921,610	3,938,059
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	240	309
評価・換算差額等合計	240	309
純資産合計	3,921,370	3,937,750
負債純資産合計	4,793,720	4,544,315

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)
売上高	3,000,786	3,062,458
売上原価	879,949	877,823
売上総利益	2,120,837	2,184,635
販売費及び一般管理費	1,941,134	2,046,732
営業利益	179,703	137,903
営業外収益		
受取利息	327	310
協賛金収入	3,933	10,017
その他	1,895	6,089
営業外収益合計	6,157	16,416
営業外費用		
支払利息	275	410
貸倒引当金繰入額	4,858	4,878
その他	473	555
営業外費用合計	5,606	5,844
経常利益	180,253	148,475
特別損失		
固定資産除却損	-	304
貸倒損失	2,075	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	52,653
特別損失合計	2,075	52,958
税引前四半期純利益	178,177	95,516
法人税、住民税及び事業税	73,407	37,902
法人税等調整額	3,898	4,920
法人税等合計	77,305	42,822
四半期純利益	100,871	52,694

(第2四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1,600,816	1,605,182
売上原価	467,796	461,816
売上総利益	1,133,020	1,143,366
販売費及び一般管理費	996,257	1,055,591
営業利益	136,762	87,774
営業外収益		
受取利息	39	30
協賛金収入	3,291	9,008
その他	598	5,531
営業外収益合計	3,929	14,569
営業外費用		
支払利息	212	194
貸倒引当金繰入額	4,706	2,754
その他	286	17
営業外費用合計	5,205	2,966
経常利益	135,486	99,378
特別損失		
固定資産除却損	-	202
特別損失合計	-	202
税引前四半期純利益	135,486	99,176
法人税、住民税及び事業税	58,041	22,409
法人税等調整額	756	25,845
法人税等合計	57,284	48,255
四半期純利益	78,202	50,920

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	178,177	95,516
減価償却費	143,076	150,626
貸倒引当金の増減額（は減少）	4,869	57,491
賞与引当金の増減額（は減少）	264	35
受取利息及び受取配当金	696	668
支払利息	275	410
有形固定資産除却損	-	304
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	52,653
売上債権の増減額（は増加）	9,893	14,382
たな卸資産の増減額（は増加）	6,442	4,081
仕入債務の増減額（は減少）	67,719	65,699
長期未収入金の増減額（は増加）	-	61,011
その他	10,393	13,995
小計	387,213	363,629
利息及び配当金の受取額	696	668
利息の支払額	303	391
法人税等の支払額	82,252	23,562
営業活動によるキャッシュ・フロー	305,352	340,344
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	32,317	42,309
定期預金の払戻による収入	45,000	-
有形固定資産の取得による支出	137,619	139,545
敷金及び保証金の差入による支出	22,628	12,100
敷金及び保証金の回収による収入	2,425	1,166
その他	16,457	4,441
投資活動によるキャッシュ・フロー	161,597	188,347
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	4,996	50,000
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	16,387	15,280
自己株式の取得による支出	-	147
配当金の支払額	68,754	68,541
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,862	33,969
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	153,617	118,027
現金及び現金同等物の期首残高	1,291,410	1,356,092
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,445,028	1,474,120

（4）継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日）
該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日）
該当事項はありません。